Server2000 ホスト連携プレミアム
ライセンス取扱説明書

～ ご使用の前に必ずお読み下さい ～

このたびは、Ｓｅｒｖｅｒ２０００ホスト連携プレミアム Ｖ３．０をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書では、Ｓｅｒｖｅｒ２０００ホスト連携プレミアム　Ｖ３．０に関連するライセンスについて説明します。

１．WSMGR利用ライセンスについて

WSMGR利用ライセンスについてご説明します。

（１）WSMGR機能について

- WSMGR機能とは、「通信制御サービス」と「WSMGR」, または「WSMGR ｆｏｒ Ｗｅｂ」をクライアントシステムにインストールして利用する、ディスプレイエミュレータ機能、または、プリンタエミュレータ機能を言います。
- ディスプレイエミュレータ機能は、１クライアントにつき最大４セション（４ＬＵ）を同時に利用できます。
- プリンタエミュレータ機能は、１クライアントにつき１セション（１ＬＵ）を利用できます。

（２）ライセンス方式

- WSMGR機能を利用する数分が必要となる方式です。
  ディスプレイエミュレータ機能を利用するクライアントの数と、プリンタエミュレータ機能を利用するクライアントの数との合計の数のライセンスが必要です。
  例・１台のクライアントシステムで、ディスプレイエミュレータ機能とプリンタエミュレータ機能の両方を利用する場合、２ ライセンスが必要です。
  ・１００台のクライアントシステムで、ディスプレイエミュレータ機能を利用する場合、同時に使用する数にかかわらず１００ライセンスが必要です。
- 「WSMGR利用ライセンス」には利用するライセンス数分のＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒのクライアントライセンスが含まれています。

（３）注意事項

- WSMGR利用ライセンスは、ターミナルサービス環境での運用に関する使用許諾は含みません。
- WSMGR機能で、「WSMGR ＬＢＰｻﾎﾟｰﾄ」、「WSMGR ＡＰＩ オプション」相当の機能を利用する場合には、クライアント毎に「WSMGR ＬＢＰｻﾎﾟｰﾄ」、「WSMGR ＡＰＩ オプション」を購入してインストールしてください。
- 「Ｓｅｒｖｅｒ２０００ホスト連携プレミアム」のWSMGR機能を利用するにあたり、「WSMGR」、「通信制御サービス」のライセンスパックのライセンスは利用できません。また、WSMGR利用ライセンスを「WSMGR」、「通信制御サービス」の単品製品のライセンスとして利用する事もできません。

２．ＦＮＡ Ｓｅｒｖｅｒ のクライアントライセンスについて

「Ｓｅｒｖｅｒ２０００ホスト連携プレミアム Ｖ３．０」を構成する「ＦＮＡ Ｓｅｒｖｅｒ Ｖ６．０」（以下、ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品といいます）のクライアントライセンスについてご説明します。

（１）クライアント

クライアントとは、以下のものをいいます。
- ホスト連携エミュレータソフトウェア（WSMGR、弊社製Ｆ６６８０エミュレータなど）が動作しているコンピュータ
- ＶＳＰシリーズ

（2）ライセンス方式

・　ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に同時に接続するクライアントの通信パス数分のクライアントライセンスが必要となる方式です。すなわち、お客様はクライアントライセンスにより、ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品にクライアントライセンス数分の通信パスを、同時に接続できることになります。
　ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒにおける通信パスの定義は以下の通りです。
　－NMCLAN、ＴＣＰ／ＩＰ、FNAonＴＣＰ／ＩＰ接続
　　基本的には物理的なクライアント１台からの接続が１つの通信パスです。ただし、１台のクライアントからの接続であっても、ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒから見て通信パスを識別する情報（＊1）が異なる場合は、別の通信パスとみなします。
　　＊1　NMCLAN接続：MACアドレス、ＴＣＰ／ＩＰ接続：端末名、
　　　FNAonＴＣＰ／ＩＰ接続：ホスト名
　－ＴＮ、ＣＳＳ５６０接続
　　物理的なクライアント 1 台からの接続が 1 つの通信パスです。
・　クライアントライセンスはＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品単位に許諾されます。例えば、１台のクライアントを、ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品が動作する２台のコンピュータに接続する場合、それぞれのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品にクライアントライセンスが必要となります。
・　ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品は、１６クライアントライセンスを含んでいます。その他に、クライアントライセンス追加のために、「FNA Ｓｅｒｖｅｒ　１クライアントライセンス　Ｖ6．0」および「FNA Ｓｅｒｖｅｒ　２０クライアントライセンス　Ｖ6．0」（以下、総称してクライアントライセンス製品と述べます）があります。

（3）注意事項

・　１つのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に適用することのできるクライアントライセンス数は、ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に含まれる１６クライアントライセンスを含めて最大９９９です。ただし、1 つのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品が制御することのできる最大セション（ＬＵ）数は９９９ですので、各クライアントが使用するセション（ＬＵ）数により、ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品あたりの使用可能な最大クライアントライセンス数は変化します。
　例：各クライアントが１ＬＵずつ使用する場合
　　→1つのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に最大９９９台のクライアントが接続可能
　　各クライアントが２ＬＵずつ使用する場合
　　→1つのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に最大４９９台のクライアントが接続可能
　　各クライアントが５ＬＵずつ使用する場合
　　→1つのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に最大１９９台のクライアントが接続可能
・　ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品とＳｅｒｖｅｒ２０００を接続する場合は、1 クライアントライセンスが必要です。
・　クライアントでＷｅｂＣｒｏｓｓまたはＷｅｂｊｅｔを使用する場合は、WWW ブラウザに表示されるエミュレータ画面 1 画面に対して 1 クライアントライセンスが必要です。
・　1 つのクライアントライセンス製品は、1 つのＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品にのみ適用することができ、複数のＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に分割して適用することはできません。なお、ライセンスの対象となっているＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品を変更することは可能です。
・　ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品に含まれている１６クライアントライセンスを、別のＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒ本体製品へ適用することはできません。

３．Ｓｅｒｖｅｒ２０００利用ライセンスについて

（1）ライセンス方式

・　Ｓｅｒｖｅｒ２０００機能経由でホストコンピュータに同時に接続するブラウザの数をカウントする方式です。

４．拡張印刷利用ライセンスについて

（1）ライセンス方式

・　拡張印刷機能により帳票印刷を行うプリンタの台数をカウントする方式です。

５．レベルアップ、バージョンアップ時の取り扱い

各ライセンスの本体製品がレベルアップまたはバージョンアップされた時の各ライセンス製品の取り扱いについて、ご説明します。

なお、各ライセンスとは、次の４種のライセンスです。

- **WSMGR利用ライセンス**
- **Ｓｅｒｖｅｒ２０００利用ライセンス**
- **拡張印刷利用ライセンス**
- **ＦＮＡ　Ｓｅｒｖｅｒのクライアントライセンス**

- **本体製品がレベルアップされた場合、お客様は従来通り各ライセンス製品をご使用いただけます。（各ライセンス製品は、レベルアップ不要です。）**
- **本体製品がバージョンアップされた場合、お客様は各ライセンス製品をバージョンアップしていただくか、新バージョンの各ライセンス製品を別途購入していただく必要があります。**

以　上